

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	ビジネス文化専攻
	主な担当科目	社会福祉の原理と政策、地域福祉と包括的支援体制等
	氏 名	横山 順一
	フリガナ	ヨコヤマ ジュンイチ
	職 位	准教授
	学 位 等	社会福祉学修士

研究内容・社会業績等

(研究テーマ)
 地域の活性化における住民参加のあり方について
 (社会貢献)
 萩市健康福祉推進協議会(2011年～)
 萩市地域密着型サービス運営協議会(2011年～)
 萩市地域包括支援センター運営協議会(2011年～)
 萩市地域福祉活動計画推進委員会(2019年～)

論文・書籍・資格等

(著書) ※全て共著
 ・「実践と理論から学ぶ高齢者福祉」保育出版社、2009
 ・「改訂版 社会福祉概論」ふくろう出版、2010
 ・「よく分かる社会福祉の歴史」ミネルヴァ書房、2011
 ・「社会福祉の理論と実践課題」大学図書出版、2014
 ・「現代社会福祉概説」ふくろう出版、2015
 ・「改訂版現代社会福祉概説」ふくろう出版、2019
 ・「現代社会福祉要説」ふくろう出版、2021

(論文) ※全て単著
 「福祉のまちづくりにおける交通アクセスと利便性に関する考察～社会生活の保障と権利の考え方の再検討～」山口福祉文化大学研究紀要第3号、2010
 ・「山口県萩市における高齢者の災害時の対応認識と地域福祉」山口福祉文化大学研究紀要第6号、2011
 ・「中山間地域における住民の福祉課題について～A市B地域における地域づくりアンケートを手がかりに～」四天王寺大学大学院研究紀要第7号、2013
 ・「A地域夢プランの作成を踏まえた実践への展開」山口福祉文化大学研究紀要第8号、2014
 ・「地方における災害時要援護者支援と地域連帯～萩市A地域の防災調査を手掛かりに～」至誠館大学研究紀要第1号、2015
 ・「住民参加型福祉サービスに参加する住民に関するマンパワーの課題」四天王寺大学大学院研究論集第13号、2019
 ・「社会福祉援助技術現場実習における学生の学び：社会福祉援助技術現場実習報告書のテキストマイニングによる検証」至誠館大学研究紀要第8号、2021
 ・「地域福祉計画における評価のあり方について～萩市地域福祉計画の評価から考える～」至誠館大学研究紀要10号、2023

(資格)
 ・社会福祉士国家資格取得 2013年
 ・JAED認定カリキュラムコーディネーター(初級) 2019年

学生へのメッセージ

学生時代にある授業でこのような質問をされたことを覚えています。
 「君は今、足がすぐむほど高い崖の淵にいる。そして、目の前に渡してある板を渡って、向こうの崖まで歩かなければならないでしょう。君は何センチの幅の板だったら渡ることができるか？」
 そのとき、私はその状況をイメージして「自分の横幅の2倍くらいの幅のある板でしょうか」と答えたいと思います。
 先生は「歩くだけなら自分の足幅だけあればいい。最低限で良いのならば、非常に狭い幅の板で事足りるのだ。君が答えた長さは無駄、すなわちいらぬ部分ということになる。しかし、その無駄、いらぬ部分がなければ前に進めないということは、”人間は必要最低限のものだけでは前に進めない。多くの無駄と思われるものが備わっていて初めて、私達は一步前に進める。”ということだ」と話されました。続けて、「大学の中で学ぶものの中には、人生にこれは必要か？ 不必要な勉強なのではないかと感じるものもあるかもしれない。それでもだまされたと思って頑張ってみてほしい。行き詰った時に背中を押してくれるのは、実は君が無駄かもしれないと思った知識なのかもしれないのだから。」と話されました。
 なるほど！と思ひ、それから福祉ボランティア活動だけではなく、福祉以外のボランティア活動にも取り組み、福祉について考えるとき、福祉以外の経験が役立つことも何度もありました。
 大学では授業や授業外で多くの学びや教訓を得る機会があります。自分が経験したことのない世界、分野に触れる機会が増えます。それらは皆さんの人生において、手助けになる力になってくれると思います。ぜひ貪欲に色々な世界を経験する大学生活を送ってほしいと思います。